

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード 820306		豊かな心育成支援事業		担当部課	部課コード 820300	TEL 2923-2396		
開始年度		平成24	年度	→	終了年度	年度	グループ	研修・研究		
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針									
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	学校教育	基本方針	豊かな心の育成			
事業開始の背景	小学校においては、新学習指導要領実施3年目、中学校においては、新学習指導要領の実施2年目に当たる。生きる力を育成し、道徳や体育などの充実により豊かな心や健やかな体を育成することが基本的な考え方となっている。									
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	子どもたちの豊かな心の育成のために、各種研修事業を通し市内教職員の資質向上を目指す。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	1,350	人			
	市内小中学校教員				平成 27 年度	1,324	人			
事業の具体的な内容及び実施方法										
3つの研修会と3つの研究部の実施 ・人権教育研修会 7月25日(月) ・道徳の時間の教科化に向けた研修会 11月29日(火) ・学級活動スキルアップ研修会 7月25日(月) ・小・中学校特別活動授業実践研究部    ・小中学校道徳授業実践研究部 ・図画工作授業実践研究部										
④経費	<会計種別>		一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額				245	325	75			
	決算(見込み含む)				245	323				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )				
	正規職員人件費		0.67 人	5,843	0.60 人	5,196				
	事業費合計		6,088		5,519					
財源内訳		一般財源		6,088	5,519	75				
		国・県支出金								
		その他( )								
⑤実績	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	研修会実施	研修会参加人数		人	250	399	300	300	
⑥成果	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	参加者アンケート	研修会の内容(満足度)について「大変良かった・良かった」の件数		件	100	100	100	100	
						実績	99	98	<input checked="" type="checkbox"/> 実績が拡大する <input type="checkbox"/> 実績が縮小する	
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	99	98	↑どちらかをチェックしてください		
⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	・豊かな心を育成するために、道徳、特別活動、人権教育など最先端の研究をしている講師から学ぶ研修会を実施している。特に、道徳の教科化に向け、文部科学省教科調査官を講師に迎えた講演会を実施する。				・「授業実践に役立つ研修会であった」といった感想が大半であったが、参加者のライフステージが様々であったため、講演の内容等が難しいと感じた若手教員もあり、100%には至らなかった。					
⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 効率化	理由	道徳の教科化に向けての国の動向に的確に対応していく必要があり、今後も文部科学省教科調査官や各分野の優れた指導者を招聘する必要があるため。					
		次年度予算 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	道徳の教科化や次期学習指導要領を見据えた研修会などを実施するため。						
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性							
○道徳の教科化のねらいに対応した指導についての研修に視点を絞り、公開授業ではなく講演会に変更し、参加者のニーズに対応するよう変更して実施する。○学級活動スキルアップ研修会では、特に若手教員の学級指導力向上のため、2年次教員などにも広く周知し、実際の学級経営に生きる指導方法などについて学ぶ研修会とした。		豊かな心の育成は、今後一層の充実を図っていく必要のある分野である。道徳の教科化や人権教育の推進に向け、各学校で道徳教育推進教師や特別活動主任などを中心に、学校全体で組織的に取り組んでいけるよう、今後も充実した取組を進めていく。								
評価日	H28.8.15	評価者職氏名	所長 米澤 三八子							
⑨環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無